

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)				旧(現行)						
I-2-②-8 (①20)	第2表				第2表						
	対象額	600万円以下	600万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの	対象額	600万円以下	600万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの	
適用区分	下記の率とする	(4)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	適用区分	下記の率とする	(4)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする		
工種区分		A	B		工種区分		A	B			
	道路維持工事	24.96	51,908.4499	-0.4895	6.30		道路維持工事	24.96	51,908.4499	-0.4895	6.30
	河川維持工事	12.51	40.2168	-0.0748	10.14		河川維持工事	12.51	40.2168	-0.0748	10.14
	※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。				※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。						
	第3表 (略)				第3表 (略)						
	第4表 (略)				第4表 (略)						
	第5表 (略)				第5表 (略)						
	平成26年2月17日以降～平成26年4月29日迄起工適用				平成26年2月17日以降_____起工適用						
I-2-②-8 (①20)	第2表				第2表						
	対象額	200万円以下	200万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの	対象額	600万円以下	600万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの	
適用区分	下記の率とする	(4)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	適用区分	下記の率とする	(4)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする		
工種区分		A	B		工種区分		A	B			
	道路維持工事	42.74	51,908.4499	-0.4895	6.30		道路維持工事	24.96	51,908.4499	-0.4895	6.30
	河川維持工事	13.58	40.2168	-0.0748	10.14		河川維持工事	12.51	40.2168	-0.0748	10.14
	※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。				※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。						
	第3表 (略)				第3表 (略)						
	第4表 (略)				第4表 (略)						
	第5表 (略)				第5表 (略)						
	平成26年4月30日以降起工適用				_____						

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)	旧(現行)																																																
I-2-②-32 (①44)	<p>別表第1 現場管理費率標準値</p> <p>第1表 (略)</p> <p>第2表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分 工種区分</th> <th>700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え1億円以下</th> <th>1億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">(4)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>A</th> <th>B</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路維持工事</td> <td>48.60</td> <td>317.6400</td> <td>-0.1191</td> <td>35.41</td> </tr> <tr> <td>河川維持工事</td> <td>41.16</td> <td>171.1033</td> <td>-0.0904</td> <td>32.36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。</p> <p>第3表 (略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">平成26年2月17日以降～平成26年4月29日迄起工適用</div>	対象額 適用区分 工種区分	700万円以下	700万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの	下記の率とする	(4)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする			A	B		道路維持工事	48.60	317.6400	-0.1191	35.41	河川維持工事	41.16	171.1033	-0.0904	32.36	<p>別表第1 現場管理費率標準値</p> <p>第1表 (略)</p> <p>第2表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分 工種区分</th> <th>700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え1億円以下</th> <th>1億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">(9)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>A</th> <th>B</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路維持工事</td> <td>48.60</td> <td>317.6400</td> <td>-0.1191</td> <td>35.41</td> </tr> <tr> <td>河川維持工事</td> <td>41.16</td> <td>171.1033</td> <td>-0.0904</td> <td>32.36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。</p> <p>第3表 (略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">平成26年2月17日以降_____起工適用</div>	対象額 適用区分 工種区分	700万円以下	700万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの	下記の率とする	(9)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする			A	B		道路維持工事	48.60	317.6400	-0.1191	35.41	河川維持工事	41.16	171.1033	-0.0904	32.36
	対象額 適用区分 工種区分		700万円以下	700万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの																																												
下記の率とする		(4)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																														
		A	B																																															
道路維持工事	48.60	317.6400	-0.1191	35.41																																														
河川維持工事	41.16	171.1033	-0.0904	32.36																																														
対象額 適用区分 工種区分	700万円以下	700万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの																																														
	下記の率とする	(9)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																														
		A	B																																															
道路維持工事	48.60	317.6400	-0.1191	35.41																																														
河川維持工事	41.16	171.1033	-0.0904	32.36																																														
I-2-②-32 (①44)	<p>別表第1 現場管理費率標準値</p> <p>第1表 (略)</p> <p>第2表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分 工種区分</th> <th>200万円以下</th> <th colspan="2">200万円を超え1億円以下</th> <th>1億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">(9)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>A</th> <th>B</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路維持工事</td> <td><u>56.42</u></td> <td>317.6400</td> <td>-0.1191</td> <td>35.41</td> </tr> <tr> <td>河川維持工事</td> <td><u>46.09</u></td> <td>171.1033</td> <td>-0.0904</td> <td>32.36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。</p> <p>第3表 (略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">平成26年4月30日以降起工適用</div>	対象額 適用区分 工種区分	200万円以下	200万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの	下記の率とする	(9)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする			A	B		道路維持工事	<u>56.42</u>	317.6400	-0.1191	35.41	河川維持工事	<u>46.09</u>	171.1033	-0.0904	32.36	<p>別表第1 現場管理費率標準値</p> <p>第1表 (略)</p> <p>第2表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分 工種区分</th> <th>700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え1億円以下</th> <th>1億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">(9)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>A</th> <th>B</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路維持工事</td> <td><u>48.60</u></td> <td>317.6400</td> <td>-0.1191</td> <td>35.41</td> </tr> <tr> <td>河川維持工事</td> <td><u>41.16</u></td> <td>171.1033</td> <td>-0.0904</td> <td>32.36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。</p> <p>第3表 (略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">_____</div>	対象額 適用区分 工種区分	700万円以下	700万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの	下記の率とする	(9)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする			A	B		道路維持工事	<u>48.60</u>	317.6400	-0.1191	35.41	河川維持工事	<u>41.16</u>	171.1033	-0.0904	32.36
	対象額 適用区分 工種区分		200万円以下	200万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの																																												
下記の率とする		(9)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																														
		A	B																																															
道路維持工事	<u>56.42</u>	317.6400	-0.1191	35.41																																														
河川維持工事	<u>46.09</u>	171.1033	-0.0904	32.36																																														
対象額 適用区分 工種区分	700万円以下	700万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの																																														
	下記の率とする	(9)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																														
		A	B																																															
道路維持工事	<u>48.60</u>	317.6400	-0.1191	35.41																																														
河川維持工事	<u>41.16</u>	171.1033	-0.0904	32.36																																														

土木工事標準積算基準〔Ⅰ〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新 (改正後)	旧 (現行)																																																																																																																																																																																						
Ⅱ-1-②-4 (①184)	3-2 バックホウの作業能力 (1) 日当り施工量 バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表3.4 日当り施工量 (1日当り)	3-2 バックホウの作業能力 (1) 日当り施工量 バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表3.4 日当り施工量 (1日当り)																																																																																																																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地 山 の掘削積込</td> <td rowspan="2">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>m3</td> <td>270</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>207</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>450</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>369</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ル ー ズ な状態の積込み</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>279</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>234</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>468</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>396</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">床 堀 り (作業土工)</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>144</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>117</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>220</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>160</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>150</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>110</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量		障害なし	障害あり	地 山 の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m3	270	171		岩塊・玉石	〃	207	126			排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	450	288		岩塊・玉石	〃	369	234	ル ー ズ な状態の積込み	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	279			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	234		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	468			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	396		床 堀 り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	144			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	117		排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	220	180		岩塊・玉石	〃	160	130			排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	150	100				岩塊・玉石	〃	110	70	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地 山 の掘削積込</td> <td rowspan="2">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>m3</td> <td>270</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>207</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>450</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>369</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ル ー ズ な状態の積込み</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>279</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>234</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>468</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>396</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">床 堀 り (作業土工)</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>144</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>117</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>220</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>160</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>150</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>110</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量		障害なし	障害あり	地 山 の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m3	270	171		岩塊・玉石	〃	207	126			排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	450	288		岩塊・玉石	〃	369	234	ル ー ズ な状態の積込み	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	279			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	234		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	468			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	396		床 堀 り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	144			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	117		排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	220	180		岩塊・玉石	〃	160	130			排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	150	100				岩塊・玉石	〃	110	70
作業の種類	名 称						規 格	土 質 名	単 位	数 量																																																																																																																																																																														
		障害なし	障害あり																																																																																																																																																																																					
地 山 の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m3	270	171																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	207	126																																																																																																																																																																																		
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	450	288																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	369	234																																																																																																																																																																																		
ル ー ズ な状態の積込み	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	279																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	234																																																																																																																																																																																			
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	468																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	396																																																																																																																																																																																			
床 堀 り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	144																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	117																																																																																																																																																																																			
		排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	220	180																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	160	130																																																																																																																																																																																		
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	150	100																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	110	70																																																																																																																																																																																		
作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量																																																																																																																																																																																			
					障害なし	障害あり																																																																																																																																																																																		
地 山 の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m3	270	171																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	207	126																																																																																																																																																																																		
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	450	288																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	369	234																																																																																																																																																																																		
ル ー ズ な状態の積込み	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	279																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	234																																																																																																																																																																																			
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	468																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	396																																																																																																																																																																																			
床 堀 り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	144																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	117																																																																																																																																																																																			
		排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	220	180																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	160	130																																																																																																																																																																																		
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	150	100																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	110	70																																																																																																																																																																																		
	(以下略)	(以下略)																																																																																																																																																																																						
	平成25年10月1日以降～平成26年4月29日迄起工適用																																																																																																																																																																																							
Ⅱ-1-②-4 (①184)	3-2 バックホウの作業能力 (1) 日当り施工量 バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表3.4 日当り施工量 (1日当り)	3-2 バックホウの作業能力 (1) 日当り施工量 バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表3.4 日当り施工量 (1日当り)																																																																																																																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地 山 の掘削積込</td> <td rowspan="2">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>m3</td> <td>240</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>184</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>400</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>328</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ル ー ズ な状態の積込み</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>248</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>208</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>416</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>352</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">床 堀 り (作業土工)</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>128</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>104</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>220</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>160</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>150</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>110</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量		障害なし	障害あり	地 山 の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m3	240	152		岩塊・玉石	〃	184	112			排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	400	256		岩塊・玉石	〃	328	208	ル ー ズ な状態の積込み	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	248			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	208		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	416			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	352		床 堀 り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	128			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	104		排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	220	180		岩塊・玉石	〃	160	130			排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	150	100				岩塊・玉石	〃	110	70	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地 山 の掘削積込</td> <td rowspan="2">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>m3</td> <td>270</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>207</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>450</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>369</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ル ー ズ な状態の積込み</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>279</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>234</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>468</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>396</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">床 堀 り (作業土工)</td> <td rowspan="4">バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>144</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石, 岩 (破碎)</td> <td>〃</td> <td>117</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>220</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>160</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)</td> <td>レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土</td> <td>〃</td> <td>150</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>岩塊・玉石</td> <td>〃</td> <td>110</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量		障害なし	障害あり	地 山 の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m3	270	171		岩塊・玉石	〃	207	126			排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	450	288		岩塊・玉石	〃	369	234	ル ー ズ な状態の積込み	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	279			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	234		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	468			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	396		床 堀 り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	144			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	117		排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	220	180		岩塊・玉石	〃	160	130			排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	150	100				岩塊・玉石	〃	110	70
作業の種類	名 称						規 格	土 質 名	単 位	数 量																																																																																																																																																																														
		障害なし	障害あり																																																																																																																																																																																					
地 山 の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m3	240	152																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	184	112																																																																																																																																																																																		
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	400	256																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	328	208																																																																																																																																																																																		
ル ー ズ な状態の積込み	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	248																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	208																																																																																																																																																																																			
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	416																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	352																																																																																																																																																																																			
床 堀 り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	128																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	104																																																																																																																																																																																			
		排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	220	180																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	160	130																																																																																																																																																																																		
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	150	100																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	110	70																																																																																																																																																																																		
作業の種類	名 称	規 格	土 質 名	単 位	数 量																																																																																																																																																																																			
					障害なし	障害あり																																																																																																																																																																																		
地 山 の掘削積込	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m3	270	171																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	207	126																																																																																																																																																																																		
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	450	288																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	369	234																																																																																																																																																																																		
ル ー ズ な状態の積込み	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	279																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	234																																																																																																																																																																																			
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 1.4m3 (平積 1.0m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	468																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	396																																																																																																																																																																																			
床 堀 り (作業土工)	バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	144																																																																																																																																																																																			
			岩塊・玉石, 岩 (破碎)	〃	117																																																																																																																																																																																			
		排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	220	180																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	160	130																																																																																																																																																																																		
		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	〃	150	100																																																																																																																																																																																		
			岩塊・玉石	〃	110	70																																																																																																																																																																																		
	(以下略)	(以下略)																																																																																																																																																																																						
	平成26年4月30日以降起工適用																																																																																																																																																																																							

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)	旧(現行)																																																																																																																																																				
II-1-④-2 (①211)	<p>3. 各作業の施工歩掛 3-1 日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1 各作業の日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業</th> <th rowspan="2">工種</th> <th rowspan="2">機種</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>標準</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">敷均し・ 敷均し・ 締固め</td> <td rowspan="3">路体・ 築堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td rowspan="6">m3</td> <td>621</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>882</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級</td> <td>504</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>486</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>693</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・築堤</td> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>1197</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>路床</td> <td>522</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">敷均し 締固め</td> <td rowspan="3">路体・ 築堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td rowspan="6">m3</td> <td>369</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>540</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級</td> <td>306</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>216</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>324</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 補助労務 機械による敷均し及び敷均し締固め作業の補助として、次表を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3. 2 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工種</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷均し</td> <td>路床・築堤</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.22</td> </tr> <tr> <td>敷均し締固め</td> <td>路床</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>0.33</td> </tr> </tbody> </table>	作業	工種	機種	規格	単位	数量		標準	障害あり	敷均し・ 敷均し・ 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	621	315	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	882	513	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級	504	315	路床	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	486	252	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	693	405	路体・築堤	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	1197	504	路床	522	144	敷均し 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	369	171	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	540	225	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級	306	144	路床	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	216	117	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	324	135	(略)		作業	工種	名称	単位	数量	敷均し	路床・築堤	普通作業員	人	0.22	敷均し締固め	路床	〃	〃	0.33	<p>3. 各作業の施工歩掛 3-1 日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1 各作業の日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業</th> <th rowspan="2">工種</th> <th rowspan="2">機種</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>標準</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">敷均し・ 敷均し・ 締固め</td> <td rowspan="3">路体・ 築堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td rowspan="6">m3</td> <td>621</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>882</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級</td> <td>504</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>486</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>693</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・築堤</td> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>1197</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>路床</td> <td>522</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">敷均し 締固め</td> <td rowspan="3">路体・ 築堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td rowspan="6">m3</td> <td>369</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>540</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級</td> <td>306</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>216</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>324</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 補助労務 機械による敷均し及び敷均し締固め作業の補助として、次表を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3. 2 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工種</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷均し</td> <td>路床・築堤</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.22</td> </tr> <tr> <td>敷均し締固め</td> <td>路床</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>0.33</td> </tr> </tbody> </table>	作業	工種	機種	規格	単位	数量		標準	障害あり	敷均し・ 敷均し・ 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	621	315	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	882	513	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級	504	315	路床	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	486	252	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	693	405	路体・築堤	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	1197	504	路床	522	144	敷均し 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	369	171	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	540	225	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級	306	144	路床	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	216	117	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	324	135	(略)		作業	工種	名称	単位	数量	敷均し	路床・築堤	普通作業員	人	0.22	敷均し締固め	路床	〃	〃	0.33
作業	工種						機種	規格	単位	数量																																																																																																																																												
		標準	障害あり																																																																																																																																																			
敷均し・ 敷均し・ 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	621	315																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		882	513																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		504	315																																																																																																																																																
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		486	252																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		693	405																																																																																																																																																
			路体・築堤		タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	1197	504																																																																																																																																														
路床	522	144																																																																																																																																																				
敷均し 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	369	171																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		540	225																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		306	144																																																																																																																																																
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		216	117																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		324	135																																																																																																																																																
			(略)																																																																																																																																																			
作業	工種	名称	単位	数量																																																																																																																																																		
敷均し	路床・築堤	普通作業員	人	0.22																																																																																																																																																		
敷均し締固め	路床	〃	〃	0.33																																																																																																																																																		
作業	工種	機種	規格	単位	数量																																																																																																																																																	
					標準	障害あり																																																																																																																																																
敷均し・ 敷均し・ 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	621	315																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		882	513																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		504	315																																																																																																																																																
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		486	252																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		693	405																																																																																																																																																
			路体・築堤		タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	1197	504																																																																																																																																														
路床	522	144																																																																																																																																																				
敷均し 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	369	171																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		540	225																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		306	144																																																																																																																																																
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		216	117																																																																																																																																																
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		324	135																																																																																																																																																
			(略)																																																																																																																																																			
作業	工種	名称	単位	数量																																																																																																																																																		
敷均し	路床・築堤	普通作業員	人	0.22																																																																																																																																																		
敷均し締固め	路床	〃	〃	0.33																																																																																																																																																		
平成25年10月1日以降～平成26年4月29日迄起工適用																																																																																																																																																						

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)	旧(現行)																																																																																																																																																								
II-1-④-2 (①211)	<p>3. 各作業の施工歩掛 3-1 日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1 各作業の日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業</th> <th rowspan="2">工種</th> <th rowspan="2">機種</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>標準</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">敷均し・ 敷均し・ 締固め</td> <td rowspan="3">路体・ 築堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td rowspan="6">m3</td> <td>552</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>784</td> <td>456</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級</td> <td>448</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>432</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>616</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・築堤</td> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>1064</td> <td>448</td> </tr> <tr> <td>路床</td> <td>464</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">敷均し 締固め</td> <td rowspan="3">路体・ 築堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td rowspan="6">m3</td> <td>328</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>480</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級</td> <td>272</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>192</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>288</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p>3-2 補助労務 機械による敷均し及び敷均し締固め作業の補助として、次表を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3. 2 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工種</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷均し</td> <td>路床・築堤</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>敷均し締固め</td> <td>路床</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>0.38</td> </tr> </tbody> </table>	作業	工種	機種	規格	単位	数量		標準	障害あり	敷均し・ 敷均し・ 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	552	280	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	784	456	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級	448	280	路床	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	432	224	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	616	360	路体・築堤	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	1064	448	路床	464	128	敷均し 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	328	152	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	480	200	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級	272	128	路床	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	192	104	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	288	120					作業	工種	名称	単位	数量	敷均し	路床・築堤	普通作業員	人	0.25	敷均し締固め	路床	〃	〃	0.38	<p>3. 各作業の施工歩掛 3-1 日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1 各作業の日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業</th> <th rowspan="2">工種</th> <th rowspan="2">機種</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>標準</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">敷均し・ 敷均し・ 締固め</td> <td rowspan="3">路体・ 築堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td rowspan="6">m3</td> <td>621</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>882</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級</td> <td>504</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>486</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>693</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・築堤</td> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>1197</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>路床</td> <td>522</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">敷均し 締固め</td> <td rowspan="3">路体・ 築堤</td> <td rowspan="6">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td rowspan="6">m3</td> <td>369</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>540</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級</td> <td>306</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路床</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>216</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級</td> <td>324</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p>3-2 補助労務 機械による敷均し及び敷均し締固め作業の補助として、次表を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3. 2 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工種</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷均し</td> <td>路床・築堤</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.22</td> </tr> <tr> <td>敷均し締固め</td> <td>路床</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>0.33</td> </tr> </tbody> </table>	作業	工種	機種	規格	単位	数量		標準	障害あり	敷均し・ 敷均し・ 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	621	315	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	882	513	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級	504	315	路床	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	486	252	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	693	405	路体・築堤	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	1197	504	路床	522	144	敷均し 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	369	171	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	540	225	排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級	306	144	路床	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	216	117	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	324	135					作業	工種	名称	単位	数量	敷均し	路床・築堤	普通作業員	人	0.22	敷均し締固め	路床	〃	〃	0.33
作業	工種						機種	規格	単位	数量																																																																																																																																																
		標準	障害あり																																																																																																																																																							
敷均し・ 敷均し・ 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	552	280																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		784	456																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		448	280																																																																																																																																																				
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		432	224																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		616	360																																																																																																																																																				
			路体・築堤		タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	1064	448																																																																																																																																																		
路床	464	128																																																																																																																																																								
敷均し 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	328	152																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		480	200																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		272	128																																																																																																																																																				
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		192	104																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		288	120																																																																																																																																																				
作業	工種	名称	単位	数量																																																																																																																																																						
敷均し	路床・築堤	普通作業員	人	0.25																																																																																																																																																						
敷均し締固め	路床	〃	〃	0.38																																																																																																																																																						
作業	工種	機種	規格	単位	数量																																																																																																																																																					
					標準	障害あり																																																																																																																																																				
敷均し・ 敷均し・ 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	621	315																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		882	513																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		504	315																																																																																																																																																				
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		486	252																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		693	405																																																																																																																																																				
			路体・築堤		タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	1197	504																																																																																																																																																		
路床	522	144																																																																																																																																																								
敷均し 締固め	路体・ 築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m3	369	171																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		540	225																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		306	144																																																																																																																																																				
	路床		排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		216	117																																																																																																																																																				
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		324	135																																																																																																																																																				
作業	工種	名称	単位	数量																																																																																																																																																						
敷均し	路床・築堤	普通作業員	人	0.22																																																																																																																																																						
敷均し締固め	路床	〃	〃	0.33																																																																																																																																																						
	平成26年4月30日以降起工適用																																																																																																																																																									

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)	旧(現行)																																																																																																																						
<p>II-1-④-3 (①212)</p>	<p>4. 狭隘な箇所の施工歩掛 4-1 適用範囲 路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>施工幅員(W)</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">敷 均 し</td> <td>2.5m ≤ W < 4.0m</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級</td> </tr> <tr> <td>W < 2.5m</td> <td>人力土工</td> <td>「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締 固 め</td> <td>1.0m ≤ W < 4.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> </tr> <tr> <td>W < 1.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式 0.8t~1.1t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表により難しい場合は別途考慮する。 2. 振動ローラは賃料とする。</p> <p>4-2 日当り作業量 各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工 種</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷 均 し</td> <td>路体 路床 築堤等</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> <td>m3</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>締固め度期待値</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">締 固 め</td> <td rowspan="2">路床並</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>m3</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・築堤等</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>〃</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 補助労務 敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.33</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 残土受け入れ地での処理 5-1 適用範囲 本資料は、工事により発生した残土の平地における処理作業を行う場合に適用する。 なお、締固め作業を行う必要がある場合は、別途考慮する。 5-2 機種の選定 ブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級を標準とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 10px;">平成25年10月1日以降~平成26年4月29日迄起工適用</div>	作業	施工幅員(W)	機 械 名	規 格	敷 均 し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級	W < 2.5m	人力土工	「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による	締 固 め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8t~1.1t	作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量	敷 均 し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	117	作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量	締 固 め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m3	90	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	50	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	108	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	63	名 称	単 位	数 量	普通作業員	人	0.33	<p>4. 狭隘な箇所の施工歩掛 4-1 適用範囲 路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>施工幅員(W)</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">敷 均 し</td> <td>2.5m ≤ W < 4.0m</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級</td> </tr> <tr> <td>W < 2.5m</td> <td>人力土工</td> <td>「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締 固 め</td> <td>1.0m ≤ W < 4.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> </tr> <tr> <td>W < 1.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式 0.8t~1.1t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表により難しい場合は別途考慮する。 2. 振動ローラは賃料とする。</p> <p>4-2 日当り作業量 各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工 種</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷 均 し</td> <td>路体 路床 築堤等</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> <td>m3</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>締固め度期待値</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">締 固 め</td> <td rowspan="2">路床並</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>m3</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・築堤等</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>〃</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 補助労務 敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.33</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 残土受け入れ地での処理 5-1 適用範囲 本資料は、工事により発生した残土の平地における処理作業を行う場合に適用する。 なお、締固め作業を行う必要がある場合は、別途考慮する。 5-2 機種の選定 ブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級を標準とする。</p>	作業	施工幅員(W)	機 械 名	規 格	敷 均 し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級	W < 2.5m	人力土工	「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による	締 固 め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8t~1.1t	作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量	敷 均 し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	117	作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量	締 固 め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m3	90	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	50	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	108	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	63	名 称	単 位	数 量	普通作業員	人	0.33
作業	施工幅員(W)	機 械 名	規 格																																																																																																																					
敷 均 し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級																																																																																																																					
	W < 2.5m	人力土工	「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による																																																																																																																					
締 固 め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t																																																																																																																					
	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8t~1.1t																																																																																																																					
作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																																			
敷 均 し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	117																																																																																																																			
作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																																			
締 固 め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m3	90																																																																																																																			
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	50																																																																																																																			
	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	108																																																																																																																			
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	63																																																																																																																			
名 称	単 位	数 量																																																																																																																						
普通作業員	人	0.33																																																																																																																						
作業	施工幅員(W)	機 械 名	規 格																																																																																																																					
敷 均 し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級																																																																																																																					
	W < 2.5m	人力土工	「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による																																																																																																																					
締 固 め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t																																																																																																																					
	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8t~1.1t																																																																																																																					
作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																																			
敷 均 し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	117																																																																																																																			
作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																																			
締 固 め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m3	90																																																																																																																			
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	50																																																																																																																			
	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	108																																																																																																																			
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	63																																																																																																																			
名 称	単 位	数 量																																																																																																																						
普通作業員	人	0.33																																																																																																																						

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)	旧(現行)																																																																																																																						
II-1-④-3 (①212)	<p>4. 狭隘な箇所の施工歩掛</p> <p>4-1 適用範囲 路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>施工幅員(W)</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">敷 均 し</td> <td>2.5m ≤ W < 4.0m</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級</td> </tr> <tr> <td>W < 2.5m</td> <td>人力土工</td> <td>「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締 固 め</td> <td>1.0m ≤ W < 4.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> </tr> <tr> <td>W < 1.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式 0.8t~1.1t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表により難い場合は別途考慮する。 2. 振動ローラは賃料とする。</p> <p>4-2 日当り作業量 各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工 種</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷 均 し</td> <td>路体 路床 築堤等</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> <td>m3</td> <td style="text-align: center;"><u>104</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>締固め度期待値</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">締 固 め</td> <td rowspan="2">路床並</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>m3</td> <td style="text-align: center;"><u>80</u></td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;"><u>44</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・築堤等</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;"><u>96</u></td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;"><u>56</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 補助労務 敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;"><u>0.38</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 残土受入れ地での処理</p> <p>5-1 適用範囲 本資料は、工事により発生した残土の平地における処理作業を行う場合に適用する。 なお、締固め作業を行う必要がある場合は、別途考慮する。</p> <p>5-2 機種の選定 ブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級を標準とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 10px;">平成26年4月30日以降起工適用</div>	作業	施工幅員(W)	機 械 名	規 格	敷 均 し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級	W < 2.5m	人力土工	「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による	締 固 め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8t~1.1t	作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量	敷 均 し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	<u>104</u>	作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量	締 固 め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m3	<u>80</u>	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	<u>44</u>	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	<u>96</u>	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	<u>56</u>	名 称	単 位	数 量	普通作業員	人	<u>0.38</u>	<p>4. 狭隘な箇所の施工歩掛</p> <p>4-1 適用範囲 路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>施工幅員(W)</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">敷 均 し</td> <td>2.5m ≤ W < 4.0m</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級</td> </tr> <tr> <td>W < 2.5m</td> <td>人力土工</td> <td>「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締 固 め</td> <td>1.0m ≤ W < 4.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> </tr> <tr> <td>W < 1.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式 0.8t~1.1t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表により難い場合は別途考慮する。 2. 振動ローラは賃料とする。</p> <p>4-2 日当り作業量 各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工 種</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷 均 し</td> <td>路体 路床 築堤等</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> <td>m3</td> <td style="text-align: center;"><u>117</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>締固め度期待値</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">締 固 め</td> <td rowspan="2">路床並</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>m3</td> <td style="text-align: center;"><u>90</u></td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;"><u>50</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・築堤等</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;"><u>108</u></td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;"><u>63</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 補助労務 敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;"><u>0.33</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 残土受入れ地での処理</p> <p>5-1 適用範囲 本資料は、工事により発生した残土の平地における処理作業を行う場合に適用する。 なお、締固め作業を行う必要がある場合は、別途考慮する。</p> <p>5-2 機種の選定 ブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級を標準とする。</p>	作業	施工幅員(W)	機 械 名	規 格	敷 均 し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級	W < 2.5m	人力土工	「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による	締 固 め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8t~1.1t	作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量	敷 均 し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	<u>117</u>	作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量	締 固 め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m3	<u>90</u>	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	<u>50</u>	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	<u>108</u>	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	<u>63</u>	名 称	単 位	数 量	普通作業員	人	<u>0.33</u>
作業	施工幅員(W)	機 械 名	規 格																																																																																																																					
敷 均 し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級																																																																																																																					
	W < 2.5m	人力土工	「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による																																																																																																																					
締 固 め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t																																																																																																																					
	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8t~1.1t																																																																																																																					
作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																																			
敷 均 し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	<u>104</u>																																																																																																																			
作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																																			
締 固 め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m3	<u>80</u>																																																																																																																			
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	<u>44</u>																																																																																																																			
	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	<u>96</u>																																																																																																																			
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	<u>56</u>																																																																																																																			
名 称	単 位	数 量																																																																																																																						
普通作業員	人	<u>0.38</u>																																																																																																																						
作業	施工幅員(W)	機 械 名	規 格																																																																																																																					
敷 均 し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3t級																																																																																																																					
	W < 2.5m	人力土工	「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による																																																																																																																					
締 固 め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t																																																																																																																					
	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8t~1.1t																																																																																																																					
作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																																			
敷 均 し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	m3	<u>117</u>																																																																																																																			
作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																																			
締 固 め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m3	<u>90</u>																																																																																																																			
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	<u>50</u>																																																																																																																			
	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	<u>108</u>																																																																																																																			
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	<u>63</u>																																																																																																																			
名 称	単 位	数 量																																																																																																																						
普通作業員	人	<u>0.33</u>																																																																																																																						

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新 (改正後)	旧 (現行)																																																		
II-1-④-4 (①213)	5-3 施工歩掛 (略) 6. 単価表 (1) ブルドーザ敷均し 100m ³ 当り単価表 (略) (2) タイヤローラ締固め 100m ³ 当り単価表 (略) (3) ブルドーザ敷均し締固め 100m ³ 当り単価表 (略) (4) 3tブルドーザ敷均し 100m ³ 当り単価表	5-3 施工歩掛 (略) 6. 単価表 (1) ブルドーザ敷均し 100m ³ 当り単価表 (略) (2) タイヤローラ締固め 100m ³ 当り単価表 (略) (3) ブルドーザ敷均し締固め 100m ³ 当り単価表 (略) (4) 3tブルドーザ敷均し 100m ³ 当り単価表																																																		
	<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">コード番号</td> <td style="text-align: center;">S1156</td> </tr> </table>	コード番号	S1156	<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">コード番号</td> <td style="text-align: center;">S1156</td> </tr> </table>	コード番号	S1156																																														
コード番号	S1156																																																			
コード番号	S1156																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">規格</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">数量</th> <th style="text-align: center;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">100/D</td> <td style="text-align: center;">表4.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.33</td> <td style="text-align: center;">表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	日	100/D	表4.2	普通作業員		人	0.33	表4.4	諸雑費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">規格</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">数量</th> <th style="text-align: center;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">100/D</td> <td style="text-align: center;">表4.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.33</td> <td style="text-align: center;">表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	日	100/D	表4.2	普通作業員		人	0.33	表4.4	諸雑費		式	1		計				
名称	規格	単位	数量	摘要																																																
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	日	100/D	表4.2																																																
普通作業員		人	0.33	表4.4																																																
諸雑費		式	1																																																	
計																																																				
名称	規格	単位	数量	摘要																																																
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	日	100/D	表4.2																																																
普通作業員		人	0.33	表4.4																																																
諸雑費		式	1																																																	
計																																																				
	<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">平成25年10月1日以降～平成26年4月29日迄起工適用</td> </tr> </table>	平成25年10月1日以降～平成26年4月29日迄起工適用																																																		
平成25年10月1日以降～平成26年4月29日迄起工適用																																																				

土木工事標準積算基準〔Ⅰ〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新 (改正後)	旧 (現行)																																																		
Ⅱ-1-④-4 (①213)	5-3 施工歩掛 (略) 6. 単価表 (1) ブルドーザ敷均し 100m ³ 当り単価表 (略) (2) タイヤローラ締固め 100m ³ 当り単価表 (略) (3) ブルドーザ敷均し締固め 100m ³ 当り単価表 (略) (4) 3tブルドーザ敷均し 100m ³ 当り単価表	5-3 施工歩掛 (略) 6. 単価表 (1) ブルドーザ敷均し 100m ³ 当り単価表 (略) (2) タイヤローラ締固め 100m ³ 当り単価表 (略) (3) ブルドーザ敷均し締固め 100m ³ 当り単価表 (略) (4) 3tブルドーザ敷均し 100m ³ 当り単価表																																																		
	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">コード番号</td> <td style="padding: 2px;">S1156</td> </tr> </table>	コード番号	S1156	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">コード番号</td> <td style="padding: 2px;">S1156</td> </tr> </table>	コード番号	S1156																																														
コード番号	S1156																																																			
コード番号	S1156																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.38</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	日	100/D	表4.2	普通作業員		人	0.38	表4.4	諸雑費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.33</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	日	100/D	表4.2	普通作業員		人	0.33	表4.4	諸雑費		式	1		計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	日	100/D	表4.2																																																
普通作業員		人	0.38	表4.4																																																
諸雑費		式	1																																																	
計																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	日	100/D	表4.2																																																
普通作業員		人	0.33	表4.4																																																
諸雑費		式	1																																																	
計																																																				
	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">平成26年4月30日以降起工適用</td> </tr> </table>	平成26年4月30日以降起工適用																																																		
平成26年4月30日以降起工適用																																																				

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)	旧(現行)																																																																																																				
II-1-④-6 (①215)	<p>④-2 土の敷均し(ルーズ)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、締固めを行わない場合の土の敷均し作業に適用する。</p> <p>2. 機種の選定 作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>作業の内容</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">敷均し</td> <td>幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級</td> </tr> <tr> <td>標準以外</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 作業の内容が標準以外とは、他の工種の使用機種を考慮し選定した場合である。</p> <p>3. 日当り施工量 各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 各作業の日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機種</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">作業条件</th> </tr> <tr> <th>標準</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">m3</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">126</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" 普通 15t級</td> <td style="text-align: center;">684</td> <td style="text-align: center;">351</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" 普通 21t級</td> <td style="text-align: center;">981</td> <td style="text-align: center;">567</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" 湿地 16t級</td> <td style="text-align: center;">558</td> <td style="text-align: center;">351</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業条件は次の諸条件を考慮し、選択するものとする。 標準：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。 (例：バイパス工事等) 障害あり：作業現場が狭い、または作業障害が多い場合。 (例：現道上の工事・一車線程度の現道拡幅工事等)</p> <p>2. 上表は土の敷均し作業のみであるので、C=1.0とする。</p> <p>4. 補助労務 機械による敷均し作業の補助として、普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.33</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級</td> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.22</td> </tr> </tbody> </table>	作業	作業の内容	機械名	規格	敷均し	幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	標準	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級	標準以外	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級	機種	規格	単位	作業条件		標準	障害あり	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	m3	126		" 普通 15t級	684	351	" 普通 21t級	981	567	" 湿地 16t級	558	351	機械名	規格	名称	単位	数量	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	普通作業員	人	0.33	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級	普通作業員	"	0.22	<p>④-2 土の敷均し(ルーズ)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、締固めを行わない場合の土の敷均し作業に適用する。</p> <p>2. 機種の選定 作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>作業の内容</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">敷均し</td> <td>幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級</td> </tr> <tr> <td>標準以外</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 作業の内容が標準以外とは、他の工種の使用機種を考慮し選定した場合である。</p> <p>3. 日当り施工量 各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 各作業の日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機種</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">作業条件</th> </tr> <tr> <th>標準</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">m3</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">126</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" 普通 15t級</td> <td style="text-align: center;">684</td> <td style="text-align: center;">351</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" 普通 21t級</td> <td style="text-align: center;">981</td> <td style="text-align: center;">567</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" 湿地 16t級</td> <td style="text-align: center;">558</td> <td style="text-align: center;">351</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業条件は次の諸条件を考慮し、選択するものとする。 標準：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。 (例：バイパス工事等) 障害あり：作業現場が狭い、または作業障害が多い場合。 (例：現道上の工事・一車線程度の現道拡幅工事等)</p> <p>2. 上表は土の敷均し作業のみであるので、C=1.0とする。</p> <p>4. 補助労務 機械による敷均し作業の補助として、普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.33</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級</td> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.22</td> </tr> </tbody> </table>	作業	作業の内容	機械名	規格	敷均し	幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	標準	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級	標準以外	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級	機種	規格	単位	作業条件		標準	障害あり	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	m3	126		" 普通 15t級	684	351	" 普通 21t級	981	567	" 湿地 16t級	558	351	機械名	規格	名称	単位	数量	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	普通作業員	人	0.33	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級	普通作業員	"	0.22
作業	作業の内容	機械名	規格																																																																																																			
敷均し	幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級																																																																																																			
	標準		排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級																																																																																																			
	標準以外		排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級																																																																																																			
	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など		排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級																																																																																																			
機種	規格	単位	作業条件																																																																																																			
			標準	障害あり																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	m3	126																																																																																																			
	" 普通 15t級		684	351																																																																																																		
	" 普通 21t級		981	567																																																																																																		
	" 湿地 16t級		558	351																																																																																																		
機械名	規格	名称	単位	数量																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	普通作業員	人	0.33																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級	普通作業員	"	0.22																																																																																																		
作業	作業の内容	機械名	規格																																																																																																			
敷均し	幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級																																																																																																			
	標準		排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級																																																																																																			
	標準以外		排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級																																																																																																			
	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など		排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級																																																																																																			
機種	規格	単位	作業条件																																																																																																			
			標準	障害あり																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	m3	126																																																																																																			
	" 普通 15t級		684	351																																																																																																		
	" 普通 21t級		981	567																																																																																																		
	" 湿地 16t級		558	351																																																																																																		
機械名	規格	名称	単位	数量																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	普通作業員	人	0.33																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級	普通作業員	"	0.22																																																																																																		

平成25年10月1日以降～平成26年4月29日迄起工適用

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)	旧(現行)																																																																																																				
II-1-④-6 (①215)	<p>④-2 土の敷均し(ルーズ)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、締固めを行わない場合の土の敷均し作業に適用する。</p> <p>2. 機種の選定 作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>作業の内容</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">敷均し</td> <td>幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級</td> </tr> <tr> <td>標準以外</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 作業の内容が標準以外とは、他の工種の使用機種を考慮し選定した場合である。</p> <p>3. 日当り施工量 各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 各作業の日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機種</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">作業条件</th> </tr> <tr> <th>標準</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">m3</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">112</td> </tr> <tr> <td>普通 15t級</td> <td style="text-align: center;">608</td> <td style="text-align: center;">312</td> </tr> <tr> <td>普通 21t級</td> <td style="text-align: center;">872</td> <td style="text-align: center;">504</td> </tr> <tr> <td>湿地 16t級</td> <td style="text-align: center;">496</td> <td style="text-align: center;">312</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業条件は次の諸条件を考慮し、選択するものとする。 標準：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。 (例：バイパス工事等) 障害あり：作業現場が狭い、または作業障害が多い場合。 (例：現道上の工事・一車線程度の現道拡幅工事等)</p> <p>2. 上表は土の敷均し作業のみであるので、C=1.0とする。</p> <p>4. 補助労務 機械による敷均し作業の補助として、普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.38</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級</td> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.25</td> </tr> </tbody> </table>	作業	作業の内容	機械名	規格	敷均し	幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	標準	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級	標準以外	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級	機種	規格	単位	作業条件		標準	障害あり	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	m3	112		普通 15t級	608	312	普通 21t級	872	504	湿地 16t級	496	312	機械名	規格	名称	単位	数量	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	普通作業員	人	0.38	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級	普通作業員	"	0.25	<p>④-2 土の敷均し(ルーズ)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、締固めを行わない場合の土の敷均し作業に適用する。</p> <p>2. 機種の選定 作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>作業の内容</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">敷均し</td> <td>幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級</td> </tr> <tr> <td>標準以外</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 作業の内容が標準以外とは、他の工種の使用機種を考慮し選定した場合である。</p> <p>3. 日当り施工量 各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 各作業の日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機種</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">作業条件</th> </tr> <tr> <th>標準</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">m3</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">126</td> </tr> <tr> <td>普通 15t級</td> <td style="text-align: center;">684</td> <td style="text-align: center;">351</td> </tr> <tr> <td>普通 21t級</td> <td style="text-align: center;">981</td> <td style="text-align: center;">567</td> </tr> <tr> <td>湿地 16t級</td> <td style="text-align: center;">558</td> <td style="text-align: center;">351</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業条件は次の諸条件を考慮し、選択するものとする。 標準：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。 (例：バイパス工事等) 障害あり：作業現場が狭い、または作業障害が多い場合。 (例：現道上の工事・一車線程度の現道拡幅工事等)</p> <p>2. 上表は土の敷均し作業のみであるので、C=1.0とする。</p> <p>4. 補助労務 機械による敷均し作業の補助として、普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機械補助労務 (100m3当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級</td> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.33</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級</td> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.22</td> </tr> </tbody> </table>	作業	作業の内容	機械名	規格	敷均し	幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	標準	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級	標準以外	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など	排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級	機種	規格	単位	作業条件		標準	障害あり	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	m3	126		普通 15t級	684	351	普通 21t級	981	567	湿地 16t級	558	351	機械名	規格	名称	単位	数量	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	普通作業員	人	0.33	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級	普通作業員	"	0.22
作業	作業の内容	機械名	規格																																																																																																			
敷均し	幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級																																																																																																			
	標準		排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級																																																																																																			
	標準以外		排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級																																																																																																			
	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など		排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級																																																																																																			
機種	規格	単位	作業条件																																																																																																			
			標準	障害あり																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	m3	112																																																																																																			
	普通 15t級		608	312																																																																																																		
	普通 21t級		872	504																																																																																																		
	湿地 16t級		496	312																																																																																																		
機械名	規格	名称	単位	数量																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	普通作業員	人	0.38																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級	普通作業員	"	0.25																																																																																																		
作業	作業の内容	機械名	規格																																																																																																			
敷均し	幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級																																																																																																			
	標準		排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級																																																																																																			
	標準以外		排出ガス対策型(第1次基準値)普通 21t級																																																																																																			
	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など		排出ガス対策型(第1次基準値)湿地 16t級																																																																																																			
機種	規格	単位	作業条件																																																																																																			
			標準	障害あり																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	m3	126																																																																																																			
	普通 15t級		684	351																																																																																																		
	普通 21t級		981	567																																																																																																		
	湿地 16t級		558	351																																																																																																		
機械名	規格	名称	単位	数量																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 3t級	普通作業員	人	0.33																																																																																																		
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級	普通作業員	"	0.22																																																																																																		

平成26年4月30日以降起工適用

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新 (改正後)	旧 (現行)																																																
<p>Ⅲ-2-⑨-2 (①818)</p>	<p>4. 機械の施工歩掛 (1) バックホウの作業日数 バックホウの作業日数は次表による。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 掘削積込100m³当り作業日数 (日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">作業日数</td> <td style="text-align: center;">0.76</td> </tr> </table> <p>(2) ダンプトラックの運搬日数</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>5. 単 価 表 (1) 機械土工 (超ロングアームバックホウ土工) 100m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">コード番号</td> <td style="text-align: center;">S1063</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超ロングアーム バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m³ (平積0.3m³)</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.76</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ダンプトラック運搬100m³当り単価表</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 20px; width: fit-content;"> <p>平成25年10月1日以降～平成26年4月29日迄起工適用</p> </div>	作業日数	0.76	コード番号	S1063	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	超ロングアーム バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m ³ (平積0.3m ³)	日	0.76	表4.1	諸 雑 費		式	1		計					<p>4. 機械の施工歩掛 (1) バックホウの作業日数 バックホウの作業日数は次表による。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 掘削積込100m³当り作業日数 (日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">作業日数</td> <td style="text-align: center;">0.76</td> </tr> </table> <p>(2) ダンプトラックの運搬日数</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>5. 単 価 表 (1) 機械土工 (超ロングアームバックホウ土工) 100m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">コード番号</td> <td style="text-align: center;">S1063</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超ロングアーム バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m³ (平積0.3m³)</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.76</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ダンプトラック運搬100m³当り単価表</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	作業日数	0.76	コード番号	S1063	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	超ロングアーム バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m ³ (平積0.3m ³)	日	0.76	表4.1	諸 雑 費		式	1		計				
作業日数	0.76																																																	
コード番号	S1063																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																														
超ロングアーム バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m ³ (平積0.3m ³)	日	0.76	表4.1																																														
諸 雑 費		式	1																																															
計																																																		
作業日数	0.76																																																	
コード番号	S1063																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																														
超ロングアーム バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m ³ (平積0.3m ³)	日	0.76	表4.1																																														
諸 雑 費		式	1																																															
計																																																		

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新 (改正後)	旧 (現行)																																																
<p>Ⅲ-2-⑨-2 (①818)</p>	<p>4. 機械の施工歩掛 (1) バックホウの作業日数 バックホウの作業日数は次表による。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 掘削積込100m³当り作業日数 (日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">作業日数</td> <td style="text-align: center;">0.85</td> </tr> </table> <p>(2) ダンプトラックの運搬日数</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>5. 単 価 表 (1) 機械土工 (超ロングアームバックホウ土工) 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">コード番号</td> <td style="text-align: center;">S1063</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超ロングアーム バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m³ (平積0.3m³)</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.85</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ダンプトラック運搬100m³当り単価表</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 20px; width: fit-content;">平成26年4月30日以降起工適用</div>	作業日数	0.85	コード番号	S1063	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	超ロングアーム バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m ³ (平積0.3m ³)	日	0.85	表4.1	諸 雑 費		式	1		計					<p>4. 機械の施工歩掛 (1) バックホウの作業日数 バックホウの作業日数は次表による。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 掘削積込100m³当り作業日数 (日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">作業日数</td> <td style="text-align: center;">0.76</td> </tr> </table> <p>(2) ダンプトラックの運搬日数</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>5. 単 価 表 (1) 機械土工 (超ロングアームバックホウ土工) 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">コード番号</td> <td style="text-align: center;">S1063</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超ロングアーム バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m³ (平積0.3m³)</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.76</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ダンプトラック運搬100m³当り単価表</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	作業日数	0.76	コード番号	S1063	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	超ロングアーム バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m ³ (平積0.3m ³)	日	0.76	表4.1	諸 雑 費		式	1		計				
作業日数	0.85																																																	
コード番号	S1063																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																														
超ロングアーム バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m ³ (平積0.3m ³)	日	0.85	表4.1																																														
諸 雑 費		式	1																																															
計																																																		
作業日数	0.76																																																	
コード番号	S1063																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																														
超ロングアーム バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.4m ³ (平積0.3m ³)	日	0.76	表4.1																																														
諸 雑 費		式	1																																															
計																																																		

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)	旧(現行)																																																										
<p>Ⅲ-3-①-2 (①862)</p>	<p>3. 機種 の 選 定</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>(1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量(地山土量)をほぐし土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」の土量換算係数fを乗じて算出する。</p> <p>4-1 バックホウの作業能力 運転1日当り土工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業 の 種 類</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地 山 の 掘 削 積 込</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m3</td> <td style="text-align: center;">198</td> <td style="text-align: center;">144</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">162</td> <td style="text-align: center;">108</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の 積 込 み</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">216</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">180</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">144</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込(現場条件の内容) 障害なし：作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。 障害あり：作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合。 3. 破碎岩(中硬岩以上)の積込みは、機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。 4. ルーズな状態の積込みは、締固めを伴わない埋戻作業に適用出来る。</p>	作 業 の 種 類	土 質 名	単 位	数 量		障害なし	障害あり	地 山 の 掘 削 積 込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3	198	144	岩塊玉石	〃	162	108	ルーズな状態の 積 込 み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	216		岩塊玉石	〃	180		破碎岩	〃	144		<p>3. 機種 の 選 定</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>(1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量(地山土量)をほぐし土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」の土量換算係数fを乗じて算出する。</p> <p>4-1 バックホウの作業能力 運転1日当り土工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業 の 種 類</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地 山 の 掘 削 積 込</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m3</td> <td style="text-align: center;">198</td> <td style="text-align: center;">144</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">162</td> <td style="text-align: center;">108</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の 積 込 み</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">216</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">180</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">144</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込(現場条件の内容) 障害なし：作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。 障害あり：作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合。 3. 破碎岩(中硬岩以上)の積込みは、機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。 4. ルーズな状態の積込みは、締固めを伴わない埋戻作業に適用出来る。</p>	作 業 の 種 類	土 質 名	単 位	数 量		障害なし	障害あり	地 山 の 掘 削 積 込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3	198	144	岩塊玉石	〃	162	108	ルーズな状態の 積 込 み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	216		岩塊玉石	〃	180		破碎岩	〃	144	
作 業 の 種 類	土 質 名				単 位	数 量																																																						
		障害なし	障害あり																																																									
地 山 の 掘 削 積 込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3	198	144																																																								
	岩塊玉石	〃	162	108																																																								
ルーズな状態の 積 込 み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	216																																																									
	岩塊玉石	〃	180																																																									
	破碎岩	〃	144																																																									
作 業 の 種 類	土 質 名	単 位	数 量																																																									
			障害なし	障害あり																																																								
地 山 の 掘 削 積 込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3	198	144																																																								
	岩塊玉石	〃	162	108																																																								
ルーズな状態の 積 込 み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	216																																																									
	岩塊玉石	〃	180																																																									
	破碎岩	〃	144																																																									
	平成25年10月1日以降～平成26年4月29日迄起工適用																																																											

土木工事標準積算基準〔I〕(平成25年10月1日)新旧対照表

頁	新(改正後)	旧(現行)																																																										
<p>Ⅲ-3-①-2 (①862)</p>	<p>3. 機種の選定</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>4. 施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量(地山土量)をほぐし土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」の土量換算係数fを乗じて算出する。</p> <p>4-1 バックホウの作業能力 運転1日当り土工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">土質名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地山の掘削積込</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m3</td> <td style="text-align: center;">176</td> <td style="text-align: center;">128</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">144</td> <td style="text-align: center;">96</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の積込み</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">196</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">160</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">128</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込(現場条件の内容) 障害なし：作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。 障害あり：作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合。 3. 破碎岩(中硬岩以上)の積込みは、機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。 4. ルーズな状態の積込みは、締固めを伴わない埋戻作業に適用出来る。</p>	作業の種類	土質名	単位	数量		障害なし	障害あり	地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3	176	128	岩塊玉石	〃	144	96	ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	196		岩塊玉石	〃	160		破碎岩	〃	128		<p>3. 機種の選定</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>4. 施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量(地山土量)をほぐし土量及び締固め後の土量の状態に換算する場合は、「第Ⅱ編第1章土工①土量変化率等」の土量換算係数fを乗じて算出する。</p> <p>4-1 バックホウの作業能力 運転1日当り土工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">土質名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地山の掘削積込</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m3</td> <td style="text-align: center;">198</td> <td style="text-align: center;">144</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">162</td> <td style="text-align: center;">108</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の積込み</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">216</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">180</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">144</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込(現場条件の内容) 障害なし：作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。 障害あり：作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合。 3. 破碎岩(中硬岩以上)の積込みは、機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。 4. ルーズな状態の積込みは、締固めを伴わない埋戻作業に適用出来る。</p>	作業の種類	土質名	単位	数量		障害なし	障害あり	地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3	198	144	岩塊玉石	〃	162	108	ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	216		岩塊玉石	〃	180		破碎岩	〃	144	
作業の種類	土質名				単位	数量																																																						
		障害なし	障害あり																																																									
地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3	176	128																																																								
	岩塊玉石	〃	144	96																																																								
ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	196																																																									
	岩塊玉石	〃	160																																																									
	破碎岩	〃	128																																																									
作業の種類	土質名	単位	数量																																																									
			障害なし	障害あり																																																								
地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m3	198	144																																																								
	岩塊玉石	〃	162	108																																																								
ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	216																																																									
	岩塊玉石	〃	180																																																									
	破碎岩	〃	144																																																									
平成26年4月30日以降起工適用																																																												